

## 令和元年度 第8回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和元年10月8日（火） 16時00分から17時20分まで

開催場所：南信濃自治振興センター 大会議室

出席者：牧野市長、木下副市長、代田教育長、寺澤総務部長、櫻井総合政策部長、細田リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、串原市長公室長、北澤危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、青木地域人育成担当参事、赤羽目消防長兼総合政策部付参事、原田秘書広報課長、田中企画課長

### 会議内容

#### 1 理事者あいさつ

##### <市長>

文科省と市の人事交流で、10月から青木参事が着任され部長会に加わっていただくことになった。これまでの様々な経験を活かして当地域の教育行政の一翼を担っていただきたい。

教育長が新聞紙上で報告しているが、交流のあるシャルルヴィル・メジエール市へ9月下旬に海外出張に行かせていただいた。龍江地区の皆さんにも現地に赴いていただき、交流を深めていただけたことは大きな成果だった。また、昨年8月にはシャルルヴィル・メジエール市長ご夫妻が来飯されたが、同市役所内に水引や飯田市の写真を飾っていただき、今後もよい交流が続けていければ良い。再来年の世界フェスには飯田OIDE長姫高校のテックレンジャーの出演意向があるという話題もあるようだが、今後も人形劇フェスタが様々な形で盛りあがってほしい。

10月となり下半期に入ったわけであるが、上半期の反省を活かしながら取り組んでほしい。また、来年度予算の準備時期にもなっている。来年度は特にいい未来デザイン2028の前期計画4年間（H29～R2）の最終年にもなるので、中期に向けてしっかり検討しながら、予算編成に取り組んでいただきたい。

今回は初の試みとして、南信濃自治振興センターを会場として部長会議を開催することとなった。準備をいただいたセンター職員に感謝申し上げますと共に、本日も有意義な会議としていただきたい。

##### <副市長>

最近、職員やOBの方の訃報が続いている。生活習慣病という共通した要因もあることから、改めて職員の健康管理について意識を高めてもらい、健康には十分に気を付けてほしい。

##### <教育長>

自分もシャルルヴィル・メジエール市への出張報告をさせていただく。同市はここ10年で6万人から4万7千人へと著しく人口減少が進んでいる地域である。その中で、ラヴィニオン市長が、文化を軸として、経済活動とは違う人の営みや交流を世界規模で取り組んでいることは、飯田市にとっても非常に参考になると思う。飯田市も人形劇だけでなく、例えば、焼肉や遠山の霜月祭りのような地元で蓄積されてきた文化があり、様々な視点でそれをもっと活かすことができると感じた。

また、AVIAMA会議にも出席させていただき、国際会議ならではの雰囲気と、様々な主張が飛び交う様子を目の当たりにしてきたが、しっかりと耳を傾け、多様な考え方があることを理解しながら前に進めていく姿勢の大切さを再認識するものだった。

最後に、本日の会場である遠山地区に関する話題として、遠山中学校の霜月祭りの継承授業の取組みが博報賞を受賞したことを報告させていただく。

#### 2 報告事項

##### (1) 公用車の事故発生状況と今後の取組について（総務部）

◇趣旨：7～9月の間に発生した公用車及び通勤中・公務外の交通事故の事案を部長会議で共有し、交通事故の防止取組を推進する。

#### ◇論点・課題

- ・期間中の事故は自損事故2件、物損事故1件であった。
- ・4～9月末の合計でみると7件（前年度の同時期22件）で、過去3年間の実績と検証しても事故発生率については減少傾向であり、19市の中でも3番目に低い状況となっている。下半期も引き続き事故防止の取組を進めていく。

#### ◇主な意見等

特になし

### (2) 令和元年度市政懇談会の総括と経過について（市民協働環境部）

◇趣 旨：6月25日から8月28日にかけて20地区で開催した市政懇談会の参加者数、分野別の概要等全体の総括を報告した。

#### ◇論点・課題

- ・出席者は2,242名と昨年度を上回った。
  - ・田舎に還ろう戦略については、20地区の進捗状況に差異はあるが、それぞれの地域資源を活用した取り組みが始まっていて、取組の早い地域では関係人口の拡大に向かっていることもわかった。部局長の皆様には、参加者の発言内容を施策に反映していくと共に、当日持ち帰りとなった課題等については、速やかに対応をお願いしたい。
- また、質問・要望事項書ややらまいか提言によって、今後地区から提出される場合も想定されるため同様に対応をお願いしたい。

#### ◇主な意見等

特になし

### (3) 令和元年度地震防災訓練の反省について（危機管理室）

◇趣 旨：9月1日の地震防災訓練の反省点と総括について報告した。

#### ◇論点・課題

- ・6月2日の土砂災害訓練の反省点をふまえ、今回は訓練方法を見直して次の内容で実施した。
  - ①本部員と事務局員の配置や役割分担の確認ができるように現実に即した訓練体勢で実施。
  - ②本部員と事務局員それぞれの基礎知識の学習会を実施し基礎知識の習得を図る。
  - ③図上訓練プログラムの工夫

#### ◇主な意見等

(健康福祉部長) これまでのやり方とは変えて、災害を想定した職員配置の見直し等は良かったが、各班との連動性に改善が必要と感じた。部内では各班で作成している計画に対して、危機管理室担当者から直接アドバイスなどがもらえると良いという意見があった。

(総務部長) 事前の学習機会を設けてもらったが、可能であれば本部員対象のより深い内容の学習機会もつくりスキルアップができればと思った。

(総合政策部長) 本部員が各職場で待機という体勢で訓練を試みたことはよかったが、各班の役割や動き方を危機管理室と事前に学習できる機会が大切だと思った。

(市長公室長) 本部の方針決定と各班の任務の関係性を考える機会になったのはよかったが、訓練の中でそれを連動させる難しさを感じた。他地区の災害の教訓についての勉強の機会もあるとよいと思った。

(病院事務局長) 情報共有をしたい。病院では多重傷病者を想定した訓練を実施した。バス事故等で死者が出た場合は、救急搬送が行われずに、事故のあった市町村が施設等へ収容することになる。飯田市は（訓練を行ったし）対応可能と思うが、周辺町村で事故が起きた場合は市として応援が必要になるかもしれない。

(市民協働環境部長) 今回の見直しを機に今後ステップアップしていくことが重要なので、危機管理室で今回の意見を整理していくことを提案したい。また、市民協働環境部では9月17日に飯田葬祭事業組合と合同で遺体の移送安置訓練初めて行った。病院とも連携しながら今後も継続的に実施したいと考えている。

(市長) どの意見も重要なことなので、危機管理室で整理して庁内にフィードバックをするように。

#### (4) 令和2年度の予算編成に向けた重点事業の選定手順について（総合政策部）

◇趣旨：令和2年度の重点候補の事業について説明

◇論点・課題

・10月7日に実施した1回目の理事者協議により選定し重点候補とされた事業に関して、2回目（10月17日、25日予定）の理事者協議で、具体的な内容説明と協議を行い重点事業を決定する。11月末の予算要求に向けて全庁一丸となって事業に磨きをかけていただきたい。

◇主な意見等

特になし

### 3 飯田市議会第3回定例会の反省について

（上下水道局長）契約案件等の補足説明資料について、議員の皆さんに内容が分かりやすいように示していくことが大切だと感じた。

（総務部長）必要な資料については提示していくべきであると思うが、議論すべき点以外に資料を求められる場合もあるので、そこは議会事務局でも調整を図ってほしい。

（議会事務局）執行部への資料の請求については案件に応じた調整を行っていく。

（副市長）全協の質疑についてはルールでの再確認も必要。

（議会事務局）議会運営上は、全協での質疑は3回までとのルールのみ。必要に応じ議会内でも検討する。

（市民協働環境部長）議会からいただく行政評価や提言の内容について、こ時間の制約もあって、こちらからの説明が充分でなかったために、捉え方の違いや誤解が生じてしまったケースがあった。再度、詳細な説明を行わせていただき、その結果、議員から理解できたという声もいただいた。そういったやりとりのプロセスの必要性を相互に感じたところである。

（総合政策部長）副議長からは、議会側の提言に対するクロス評価を希望するご意見もいただいている。次回に向けて、各部長にそういった視点でも提言を見ていただきたい。

### 4 その他、連絡事項

・市有物件等における石綿（アスベスト）対策について

過去の調査記録を基に台帳を整備し、今後の現地調査等も反映しながら、可能性がある建築物があった場合は改修工事等の時点で石綿含有調査を実施する。

・講演会「南信州人が創る新たな地域づくり」、天龍峡大橋三遠南信自動車道を歩こう」について

当日の内容説明と職員配置の予定を説明。大橋の添架歩廊の愛称が「天龍峡そらさんぽ」に決定。

・支出伝票の返戻状況について（会計課）

9月に実施した会計事務3S強化月間の調査結果を報告。今後も振り込み誤りの防止や請求書の適正な受理・管理を徹底し、適切な会計処理が行われるよう各部課で周知していただきたい。

・三遠南信サミットについて

10月30日（水）に飯田市を会場に「住（防災）」をテーマとして開催される。名古屋大学と連携したプロジェクションマッピングを活用するなど新たな試みも行われる。

### 5 閉会